キャラクター名
エデン&兎原うさぎ(とはら･うさぎ)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ オルクス	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	?/15	性別	男人格/女
覚醒	命令	衝動	吸血	初期侵食率	42 %
出自	人類への興味	経験	親友	邂逅	共生:うさぎ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	4	0	0		4	8
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	24
行動値	18
(非装備時)	18
戦闘移動	23
全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	6		意志	3	1	調達	4	
運転：			芸術：			知識：兎原うさぎ	1		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ショットガン	射撃	8r+10		5(7)		素振り 侵蝕0
(100%)	射撃	11r+12	100%	5(7)		
二兎追い	射撃	8r+25		ドッジ		侵蝕3 オリジン:2 ハンドリング:1
-メトセラ-	射撃	11r+30	100%	ドッジ		切り替え:3 ミスディレ:5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品	
ショットガン	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体	P	N		
約束	P 好奇心	N 嫌気		
兎原うさぎ	P 好意	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	12	残り財産P：	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	(+5)	常時				RB	
効果：	衝動判定ダイス+1							
オリジン:プラント	5	2	マイナー		自身		RB	
効果：	【感覚】達成値+10(12)/シーン							
リフレックス:エンハィ	2	2	リ	-	-	シンドロ		
効果：	C-2(3)下限7							
神の眼	1	1	リ	-	-	<知覚>		
効果：	<知覚>ドッジ							
ハンドリング	3	1	オート		自身			
効果：	登場時 <知覚>達成値+9(12)/シーン "兎原うさぎ"を支配して登場							
運命の切り替え	3	3	オート	視界	単体			
効果：	代理ドッジ シナリオ3(4)回							
ミスディレクション	1	5	オート	視界	単体			
効果：	攻撃判定直前 範囲単体化 対象再選択 シナリオ1(2)回							
鏡の盾	1	8	オート		攻撃者		100%	
効果：	自身へのダメージを返す(最大40) シナリオ1回							
★実験体	★	(+5)					D	
効果：	【感覚】+4							
成長促進	★	-		視界	シーン(択)	(RC)		
効果：	『お前も少しは背を伸ばせ』							
ウサギの耳	★	-				(知覚)		
効果：	「余計なお世話だよー」							
効果：								
効果：								

ゆるふわ女子高生「兎原うさぎ」と寄生植物のRB『エデン』。関係は協力型。
常に《ハンドリング》で"うさぎ"を支配下においてシーンに登場するが、
普段の意識・行動自体は"うさぎ"の好きにさせている。
誰にでも明るく振舞うが、これはネガティブな感情を"エデン"が制御しているから。
エンジェルハィロゥの強化された知覚を、オルクスである"エデン"が最大限に引き出すことにより、人智を超えた機動を可能にする。

"うさぎ"はFH育ちだったが、FHチルドレン達の暴走により所属セルが崩壊。
行く当ても、生きる意味もなくした"うさぎ"。それを偶然見つけた"エデン"。
人間に興味のある"エデン"は"うさぎ"に共生を申し入れ、"うさぎ"もまた受け入れる。
「兎原うさぎ」という名前は当時の識別名をもとに"エデン"が適当に付けた。

"うさぎ"の衝動は『自傷』。
放っておくとすぐ死にたがる"うさぎ"のことを不思議に思っている。
宿主に死なれると困る――それ以上の意味はない――ので、生命維持に不利益な感情は極力抑えるようにしている。
"うさぎ"もそのことは了承しているが、「ずるをして過去から逃げているのではないか」と、罪悪感を抱いている。